

AC PAPER

www.a-crafts.co.jp



エー・シー・ペーパー

ISSUE
05

特集

チャンフォール - 加賀市・
フテナマ・ライカい・コサ

チャンプルーな街、

フテンマ・ライカム・コザ

HAPPYなオルタナティブをあなたに

AC PAPER

CONTENTS

特集 チャンプルーな街、フテンマ・ライカム・コザ

- ・CASE 01 #琉米あるある 03
- ・CASE 02 飲んで踊って食べてmotel! 06
- ・CASE 03 勝手に妄想リノベーション 09

ニッポンの住 vol.26 (最終回) 15

その常識は非ジョーシキ?

アートアンドクラフト 17

大阪ショウルームがリニューアル!

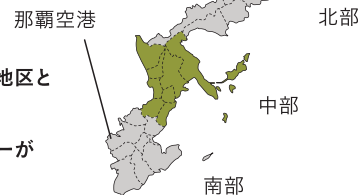
沖縄本島の中部地方には、「琉米文化」「ミックスカルチャー」と呼ばれる独特な文化があります。例えば今でも米ドルを使えるお店があることとか。アメリカに統治されていたという歴史を、肌感を持って感じられるエリアなのです。

日本にいながら、どこか異国感のある文化と人がボーダレスに混じり合う沖縄本島の中部地域、フテンマ・ライカム・コザのこれからとは？

観光地を巡るだけでは知り得ない、ローカルでリアルな沖縄中部をお届けします！



那覇空港から車で1時間程度、宜野湾市・北谷町・沖縄市などから成るエリア。那覇の国際通りや北部のリゾート地区と比べると、観光地として紹介されることは少ないですが、普天間飛行場や嘉手納基地があることから、琉米のカルチャーがミックスされている独特の文化が存在する地域です。



CASE 01 #琉米あるある

アメリカ文化が色濃く混じる沖縄中部は、おもしろあるあるネタの宝庫だったりします。
現地の人なら思わず頷くであろう、濃〜いあるあるをご紹介します。これであなたも沖縄中部通!?

基地内
ハンドソープやスナック菓子、缶詰、洗剤など、
でしか手に入らないモノが家にある。



基地内の住宅がずらっと並ぶ西普天間住宅地地区。

現在は跡地利用が進められています。

外人住宅に住んでいた人が多い

Yナンバーが多い

*Yナンバー=在留米軍人が個人的に所有する車につけられるナンバー

キングタコスが家から5km圏内にある



アメリカの消防車や
パトカーが走っている

アメリカサイズの赤い消防車たちは現地で使われているものではなく、



在日米軍仕様の特別車なのです。

誕生日にはカラフルなケーキが定番!

県内に6店舗存在するキングタコス、略して「キンタコ」はタコライス発祥の店。実は沖縄中部生まれ!



ペプシが
よく売れる

米ドルを使える
お店がある

那覇の人の言葉が
標準語に聞こえる



北谷で買うド派手なドレスは

卒業パーティーの定番!?

卒業パーティーには
北谷でドレスを買う

CoCo 壺に行ったら
自分以外ほぼ外国人



中部にはドルを使える店が特に多い。

お釣りは日本円で出てきます。

アメリカンビレッジのことを「集楽」と呼ぶ

*アメリカンビレッジ=北谷町字美浜にある、美浜タウンリゾートアメリカンビレッジという商業施設のこと

携帯番号、メールアドレスなど個人情報まで！



同窓会のお知らせが

横断幕

居酒屋には残黒、残白、

くら、菊之露ブラウンが欠かせない

* 全て泡盛のブランド



みんなが思っている。

「西海岸の夕陽は沖縄」

「いや日本」!



CASE 02 飲んで踊って食べてmotel!

中部では知る人ぞ知るSPICE MOTEL OKINAWA (北中城村)。

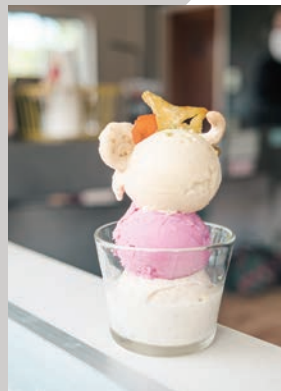
1970年、沖縄がまだアメリカ統治下であった時代に建てられたモーテルを改装しホテルとして運営中。中部の文化発信基地として周辺 map を作成したりガレージセールを行ったりしてきましたが、さらなるコンテンツを企て中!



まず、一つ目に計画されているのがシェアキッチン。今後出店を考えている沖縄の料理人たちがイベント出店等を行いながら力試しをできる場として、また普段デリバリー運営のみのショップが新たにチャレンジできる場として、モーテルのカフェスペースを貸し出します! という何ともワクワクする試みです。4月頭に行われたテスト営業の際にも多くのお客さんが訪れていました。



この日出店していたのは“カレー屋タケちゃん”と
アイスクリーム屋の“CAFUNÉ”。
用意した商品はあっという間に売り切れに！



ホテルのテラスで空と緑を眺めながら食べる
美味しいご飯は最高！ ビールが進みます。



今後 SPICE MOTEL にどんなお店が
登場するのか楽しみです！



カレー屋タケちゃん
@takecurry0126

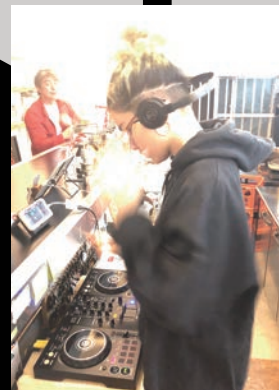
CAFUNÉ
@cafuneokinawa

マスターが入れ替わる Music Bar もスタートしました！
こちらでもホテルのカフェスペースを利用して
プロ・アマチュアのDJがお薦めの曲をミックスしたり、
デビュー前のミュージシャンがミニライブを不定期で
開催したりと、この地域で胎動するアーティストの
活動拠点となることを目指しています。

ホテルのゲストが Bar に遊びに来たり、
Bar に来た人がそのままホテルに泊まって行ったり…
想像するだけでも楽しい出会いがあること

間違いなしですね。本格稼働の情報は SPICE MOTEL の
web サイトをチェックされたし！

SPICE MOTEL
<http://spicemotel.com/>



DJ デビューの場所としてもぜひ！
これを機に始めた SPICE MOTEL の
スタッフもいます。



沖縄のカルチャーの「今」が感じられる場所として
今後どのように成長していくのか楽しみな
SPICE MOTEL OKINAWA。
沖縄県内の方はもちろん、県外の方も是非
一度訪れてみて下さいね。

CASE 03 勝手に妄想リノベーション

沖縄には独特の建築文化があります。風土を意識した建物や、アメリカ文化に影響を受けた建物…その多くはコンクリート造であることが特徴ですが、1975年頃をピークに十分に除塩されないままの海砂が生コン用の資材として使われていた事実がありました。そのため「鉄筋コンクリートは大して長持ちしない」と思い込んでいる人も多いのです。でも、全ての建物が再生不可能なわけではありません！ 価値あるものは後世に残していくべし、という強い思いとともに、リノベーションの妄想を（勝手に）膨らませていきます。



1



2



3

例えばこの**沖縄少年会館**。1966年、戦後の荒んだ環境から子ども達を守る目的で、沖縄の団体・自治体を始めとする全国からの寄付による資金によって建設されました。

どっしりとした面構えや、曲線を多用したデザインが近代建築の巨匠ル・コルビュジェを彷彿とさせ、

正統派モダニズム建築とも言える逸品です。しかし2012年、老朽化を理由に解体されてしまいました…。ああ、もったいない。これ以上、沖縄の建築遺産を安易に破壊しないでほしい！と声を大にして叫びたい。

もし私たちがリノベーションを手がけられるなら、**プラネタリウムのあるクリエイティブ・オフィス**を提案します。朝、デスクまで螺旋階段を昇りながら今日の仕事のアイデアを考える。湾曲した木製天井のフロアは、開放的なキッチンを作って共用部分に。作業に煮詰まったら最上階のプラネタリウムで星空を眺めてリフレッシュ。デザイナー、編集者、漫画家、フォトグラファーなど、クリエイターのためのオフィス…きっと満室間違いなし！



4



5



6

1. 那覇市久茂地にかつて建っていた沖縄少年会館。1980年からは久茂地公民館として活用されていました。てっぺんの丸いドームはプラネタリウムなのです！
2. 沖縄の強い日差しを遮る大きな庇が特徴的。
3. スリットの入った外部階段のデザインにも感嘆！
4. 小さなプラネタリウム。
5. 最上階まで続く螺旋階段がドラマチックです。
6. 特徴的な木製天井は、ぜひそのまま活かしたいポイント。





続いてこちらは沖縄市の島ピアノセンター。1階では音楽教室が運営中。2階が駐車場、3-5階が共同住宅となっています。

短手はリズムカルなスリット状のファサード、長手は花ブロックを用いた沖縄らしいデザインに、三角の開口が特徴的な階段室がアクセントになっています。

こちらは、上階部分を楽器を弾けるミュージックアパートメントにリノベーションするのはどうでしょう？ 防音室は作らなくとも、住人みんながミュージシャンならお互い様でOK。そうなると、

アパート内でセッションも生まれるかもしれませんね。今から楽器を始めたい！ という方も1階の音楽教室で習えるので一石二鳥。きっと人気の集合住宅になることでしょう。夢が膨らみます。



島ピアノセンターを紹介してくださった岡本尚文さんは、この企画の考案のきっかけにもなった“沖縄島建築—建物の暮らしの記録と記憶—”(トゥーバージンス)という書籍の監修と写真を手がけられています。同書では沖縄県内のユニークで魅力的な建物がたくさんのエピソードと共に紹介されています。
建築好きにはたまらない一冊。ぜひ一度お手にとってご覧ください。

Haisai
Okinawa

NEVER
FORGET



traditional

ALL
WEAPONS
INTO
MUSICAL
INSTRUMENTS

FOREVER



SHINI



tinsayunukanaya
timisatinisumiti
nyannuyushigutoya
timunisumiri



KaRaI

A
W-OKI
Kenta



SHINI

SHINI

沖繩

常識が変わる瞬間を見るのが好きです。「常識」とは、その国や地域、その時代におけるコンセンサスであり物事の前提。しかし多くの人が当たりまえと思っている

下のこと。

- ・なんで日本の家は蛍光灯だらけやねん！
- ・安易に新築買うなよ、中古でいいやん

誰かに伝えないと何も始まりません。とりあえず居酒屋でボヤいたり、SNSでつぶやいたり、blog や note に書いてみたり。それに共感する人がいれば「いいね」してくれ

ニッポンの住 vol.26 (最終回)

え、ホントに？

常識でも、場所や時代が変われば、一転してそれが非常識になる場合があります。なので常識は絶対じゃないのです。さて、今日で最終回を迎える「ニッポンの住」ですが、実はこれまで住に関する常識についてを発信してきました。いま日本の住宅業界や都市計画の世界で常識とされてることが、実はガラパゴス化や時代錯誤で、ヘンな常識になっているかも？ それをテーマに、2008年から数えて25回も書いてきたのです。たとえば以

- ・オトナの単身が暮らしたい物件が全然ない！
- ・感覚を共有できる不動産屋がほしい (R 不動産)
- ・都心をもっと自転車フレンドリーな街にしようよ
- ・通勤せず家で仕事したい！職住混在の暮らし

めっちゃボヤいてますねー。書いてるときはホンキで怒ってたんだと思います。でも何ごともまずは発信。自分がかしいと思ったことや、こうあれば良いのにと望むことは、

たり、トークイベントに呼ばれたり、もしかしたら本の執筆依頼が来るかもしれません。デモやパレードでアピールするのもありだし、学者になり教育者として考えを広める方法もあるでしょう。

自分はこのコラムで書くほか、「こうだったらいいのにな」ということを、会社のサービスや商品としてビジネスに乗せてリリースしてきました。支持されずお蔵入りになったり、投資が失敗に

終わることも多いですが、そのなかで上手くいったのが「リノベーション」です。戦前から大阪の街は人々が郊外へ移り住みスプロール化しており、バブル崩壊後も街なかの地価が高く、都心部は働くところで住むところじゃない。それが「常識」でした。でも都心居住大好き派だったので、「みんなもっと街の中心部に住もうよ。若くても中古住宅を改修してなら住めるよー」という考えから始めたのがリノベーションという手法でした。

が変わる瞬間に立ち会えるのは快感です。住関連以外では、外国人に向けて2010年に始めたホステルが、その後のインバウンドブームで当たりまえになったこと、また大阪の水辺の使いかたに不満があったて設立したNPOが、水上タクシーや川向きにテラス席のあるカフェ誕生のきっかけになるなど。それまでの非常識がオセロゲームのごとく反転して常識になっていく瞬間に、複数回も出会えたことはラッキーでした。

何度あってもうれしいので、今後も自分がおかしいと思う常識に対しては、死ぬまでボヤき続けたいと思います。少なくともボヤいてる人の足は引っ張りたくない。そして他人から「ホント常識ないよな」と言われたときは、褒め言葉をいただけたと解釈することにします。ではニッポンの住、これにて終了。長年に渡り購読いただきありがとうございます！

その常識は引換で「ジョーシキ」？

なのでリノベーションが目的だったわけではありません。でもそんなリノベーションが今や世間一般で住宅取得のメジャーな手法になりました。それまでの常識

ダメもとでも発信し続けることは大事ですね。ほんとそう思います。ニッポンの住は今回で終了しますが、こういったターニングポイントに立ち会える経験は人生で



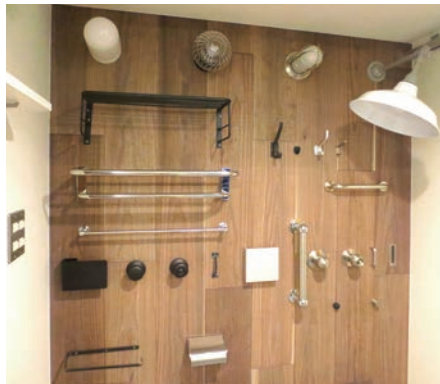
中谷ノボル(なかに・のぼる)
アートアンドクラフト代表。
建築と不動産と旅が仕事のフィールド。
大阪沖繩を拠点にリノベーションと
ホテル運営をしています。
一級建築士。趣味は海で泳ぐこと。

アートアンドクラフト

大阪ショウルームがリニューアル！

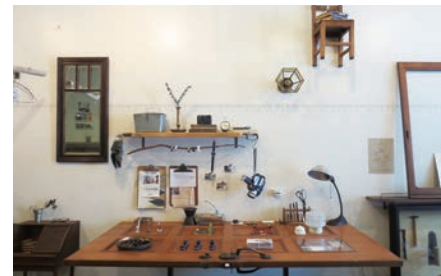
靱公園の緑が見えて気持ち良く、私たちもお気に入り的大阪ショウルーム&オフィス。今までスタッフだけが味わっていたこの心地よさをお客さんにも感じてもらえるよう、リノベーション住宅を体感できる空間にリニューアル！

土間仕上げのエントランス、無垢フローリングの足触りや表情、造作建具にキッチン、各種金物パーツetc…。打ち合わせをしながら、リノベーション住宅での暮らしを体感できます。



今まで打ち合わせスペースとして使っていたショウルーム部分にショップスペースが登場！リノベーション現場から持ち帰ってきた建具や照明を販売している古物商「まだがんばらせてください」の運営に加え、私たちが仲良くなりたい・紹介したいと思う方々にお声がけし、暮らしにまつわるポップアップストアを展開していけたらと考えています。

事前予約いただいた方には、ショウルーム見学やリノベーション相談を承っております。ご希望の方はWEBサイトのCONTACTページからお問い合わせください。



CONTACT:
<https://www.a-crafts.co.jp/contact/>

アートアンドクラフト 沖縄事務所

アートアンドクラフトでは、2012年にアートアンドクラフト沖縄事務所を開設しました。

本土とは違う気候・風土を意識した「沖縄らしいデザイン」、長く世界と交流してきた琉球ならではの「チャンプルー文化」。それらを建築不動産の分野で発掘し、継承発展していきたい。ちっぽけでも沖縄の役に立つ仕事をいつも目指しています。



個人住宅のリノベーションから空室が目立つビルやアパートの再生コンサルティングまで幅広く手がけています。沖縄事務所は北中城村で運営しているSPICE MOTEL OKINAWA内にあります。お気軽にご来場下さい。

TEL. 098 975 8090 営業時間：10:00-18:00（水日祝休）

HAPPYなオルタナティブをあなたに

AC PAPER

発行日：2020年7月10日

発行人：中谷ノボル アートアンドクラフト

編集：土中萌、吉田奈波

写真(表紙)：中村寛史

写真(P6-7)：平良洋

イラスト(P13-14)：W-OKI Kenta

デザイン：一野篤

印刷：有限会社 修美社

製本：大竹口紙工株式会社

制作・発行：株式会社アートアンドクラフト

[株式会社アートアンドクラフト]

大阪本社(オフィス&ショールーム)

550 0003 大阪市西区京町堀 1-13-24-1F

電話：06 6443 1350

神戸事務所

650 0003 神戸市中央区山本通 1-7-15-2D

電話：078 231 1008

沖縄事務所

901 2311 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場 1066

電話：098 975 8090

営業時間：10:00-18:00 水日祝休

一級建築士事務所、宅地建物取引業、建設業、古物商許可

均質化されていない住まい
あたらしい都市居住のスタイル

Arts&Crafts

あらたな視点で再発見！
不動産のセレクトショップ

大阪R不動産

— REAL OSAKA ESTATE —

マンション暮らしの新基準
セレクト型リノベーション

TOLA

renovation with pre-selected design system by Arts & Crafts

いつか観たロードムービーの世界へ
スパイスモーターホテルオキナワ

SPICE MOTEL

編集後記

沖縄県内でも那覇と中部では全然違うカルチャーが存在しているように、日本各地に多様な文化があるはず。大資本の力で全国各地にチェーン店や画一的な住宅が増えがちですが、それぞれの街がもっと独特であれば、暮らす場所を選ぶのもより楽しくなりそう。個性出していきましょう！